

令和3年12月7日

メディア関係者・プラットフォーム事業者各位

2021年12月19日(日) 10時~13時
「第2回 自殺報道のあり方を考える勉強会~ネット上での拡散への対応とその課題~」を
オンラインで開催します

Yahoo!ニュース、LINE NEWS、TikTok が取り組みを報告

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター（東京都千代田区、代表理事・清水康之、略称「JSCP」）は、「ネット上で拡散する自殺報道」への対応を考える勉強会を開催致します。テレビや新聞における対応について考えた[第1回勉強会](#)に続き、2回目の今回は報道の「拡散」に焦点を当て、ニュースを収集・配信するプラットフォーム事業者等に取り組みをご報告いただきます。

昨年7月と9月には有名俳優の自殺が相次ぎ、その直後に自殺者数が急増しました。しかし、報道量が増えれば必ず自殺者数が増加するというわけではなく、報道後に SNS 等でどれだけその自殺報道が拡散されたか、検索されたかなどといったことが複合的に影響していることも判ってきています。

本勉強会では、メディアを起点とした自殺報道がネット上で拡散していくメカニズムを、JSCP の分析結果を基に解説。続いて、**Yahoo!ニュース**と **LINE NEWS**、**TikTok** のご担当者様に、ウェルテル効果（報道が自殺者を増加させる効果）を防ぐための取り組みや、パバゲーノ効果（報道が自殺を抑止する効果）を高めるための取り組みをご報告いただきます。その上で、ジャーナリストの**古田大輔氏**にこれらの問題について論点を整理していただき、メディアとプラットフォーム事業者の双方がすべきこと、求められる連携等について、議論していきます。また最後に、自殺報道を支えるための情報を提供する「自殺リスク AI 情報システム・ホエール」（自殺報道の拡散に関するデータや将来の自殺リスクなどをリアルタイムで更新）の公開について情報提供させていただきます。

自殺報道の拡散への対応を議論する際、メディアとプラットフォーム事業者を分けて考えることはできません。両者が自殺報道のあるべき姿を共に考える、貴重な機会です。ぜひご参加ください。

- 日時：令和3年12月19日（日） 10：00～13：00
- 対象：メディア関係者、プラットフォーム事業者
- 形式：オンライン（Zoomウェビナー）
- 各社の取り組み事例の報告 ※プログラムは次頁をご覧ください
 - ・西丸 堯宏氏（ヤフー株式会社 メディア統括本部 編集本部）
 - ・末弘 良雄氏（LINE株式会社 ポータルカンパニー LINE NEWS編集長）
 - ・金子 陽子氏（TikTok Japan 公共政策本部 公共政策マネージャー）
- 解説・モデレーター
 - ・古田 大輔氏（ジャーナリスト／株式会社メディアコロボ 代表）
- 参加費：無料
- 申し込み方法：令和3年12月17日（金）締め切り

「第2回 自殺報道のあり方を考える勉強会」 プログラム

(敬称略)

時間	プログラム	登壇者
10:00	開会の挨拶	清水 康之 (JSCP 代表理事)
10:10	自殺報道に関する JSCP 分析結果の報告	阿部 博史 (JSCP エグゼクティブ・アドバイザー)
10:30	プラットフォーム事業者 取り組み事例の報告 (各社約 20 分) ① Yahoo!ニュース 西丸 堯宏 (ヤフー株式会社 メディア統括本部 編集本部) ② LINE NEWS 末弘 良雄 (LINE 株式会社 ポータルカンパニー LINE NEWS 編集長) ③ TikTok 金子 陽子 (TikTok Japan 公共政策本部 公共政策マネージャー)	
11:30	休憩	
11:35	ディスカッションに向けた論点整理	古田 大輔 (ジャーナリスト)
11:50	ディスカッション・質疑応答	【モデレーター】古田大輔 【パネリスト】西丸堯宏、末弘良雄、金子陽子、清水康之、阿部博史
12:35	「自殺リスク AI 情報システム・ホエール」公開についての情報提供 (JSCP)	
12:50	閉会の挨拶	清水 康之
13:00	閉会	

問い合わせ：[厚生労働大臣指定法人・一般社団法人 いのち支える自殺対策推進センター](#) 広報室

※いのち支える自殺対策推進センターは、「自殺対策の総合的かつ効果的な実施に資するための調査研究及びその成果の活用等の推進に関する法律」に基づき、厚生労働大臣から自殺対策に関する調査研究等を行う法人として指定を受けた一般社団法人です。(令和2年4月1日より)